



平成 19 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ピ ク セ ラ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 岡 浩
(コード番号 6731 東証第 1 部)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 室 長 御 前 仁 志
(TEL 06-6633-3500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向及び平成 19 年 4 月 17 日付でお知らせいたしました特別損失の発生等を踏まえ、平成 18 年 11 月 17 日公表の平成 19 年 9 月期中間期（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

【連結業績予想】

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,904	△204	△177
今 回 修 正 予 想 (B)	3,168	△731	△925
増 減 額 (B - A)	△1,736	△527	△748
増 減 率 (%)	△35.4	—	—
(ご参考)			
前期実績(平成 18 年 9 月期中間期)	4,004	△328	△306

【個別業績予想】

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,831	△13	△17
今 回 修 正 予 想 (B)	3,149	△487	△1,033
増 減 額 (B - A)	△1,682	△474	△1,016
増 減 率 (%)	△34.8	—	—
(ご参考)			
前期実績(平成 18 年 9 月期中間期)	4,004	△219	△196

2. 修正の理由

(売上高及び経常利益)

低迷していたパソコン販売動向が1月の新OS発売以降ようやく前年比プラスに転じてきたものの、前半の著しい落ち込みをリカバリーするには至らず、当社主力製品のパソコン向けTVキャプチャーボードの出荷が前年を大きく割り込む結果となりました(10-12月期売上高:1,347百万円、1-3月期売上高:1,802百万円)。加えて、棚卸資産評価損を65百万円計上したことからそれぞれ前回予想を下回る見込みであります。

(中間純利益)

上記による影響のほか、先にお知らせいたしましたとおり、当社が保有する関係会社株式(非上場)について、金融商品に関する会計基準に基づき厳格に評価した結果312百万円の評価損を計上したこと、及び繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額を202百万円計上したことにより、前回予想を下回る見込みであります。

また、上記個別業績の修正に伴い、連結業績も同様の修正を行います。

3. 平成19年9月期通期業績予想について

平成19年9月期(平成18年10月1日~平成19年9月30日)の通期業績予想(連結・個別)に関しましては、平成19年9月期中間決算発表時に公表いたします。

※本資料に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。